

ステークホルダーが集まる WS 開催

ホールシステム・アプローチ（ステークホルダーが一同に集まって対話する）という考え方があります。子どもの送迎サービスの事業化を目指して、さまざまな人が集まりワークショップをハイブリッド（対面リアルとオンラインを並行して実施）で行いました。

☆子ども送迎サービス

子ども（今は小学校低学年）が小学校から習い事、自宅へと送迎をするサービスを今、実証実験中です。この特徴は、アプリで予約ができ、「つながりステーション」で時間調整ができることです。ご両親が働いているご家庭では子どもに習い事をさせたいけれど、送迎する時間を取れないというのが悩みです。その悩みを解決するためにできたシステムです。

このシステムを採算が取れるように事業化するためにみなさんお知恵をいただくというワークショップを行いました。

☆ホールシステム・アプローチ

このシステムを開発した企業さん、岡崎市さん、つながりステーションの役割を担っている（一社）子どもと暮らすiiねっと、そして、他の事業化するのに予想される利害関係者や、事業化の専門家、さまざまな立場の方にお声かけしました。もちろん、子育て中の保護者の方にも。

☆ハイブリッドWS

対面リアルは子どもと暮らすiiねっとさんビル（2階と5階）とオンラインで開催しました。対面リアルは実質2会場のようなものでした。ハイブリッドで行うには、ちょうど良いサイズでした。

ハイブリッドには機材もスタッフも必要であることを痛感しました。

リアルの会場では、ファシリテーターとオンライン用の機材（PC、集音マイク、プロジェクター、スクリーンなど）は必須。これに、いつものワークショップグッズ（模造紙やプロッキー、付箋紙 etc）も必要でした。

オンラインでは、模造紙替わりにつかうツール（今回は Google スライド）も準備。準備には時間をたっぷりとっておくことがコツの一つだと痛感しました。

*ハイブリッドのWSには、事前の十分な準備とスタッフが必要でした。リアルの備品の準備だけでなく、オンライン用のツールの準備。それを回すスタッフのテクニカルスキルとファシリテーション。そして通常のWSよりも多くスタッフ人数の確保。コツもいろいろ積み重ねていけそうです。

